

# 将来は宇宙飛行機

2008.8.23 読売新聞(27)

## 天馬区ける夢

有人宇宙飛行機の開発を目指し、緑区有松町の緒川修治さん(38)が24日、秋田県能代市で開かれる「能代宇宙イベント2008」に参加する。ジェットエンジンを積んだラジコン飛行機を高度400メートルまで飛ばす。緒川さんは「将来は高度1000メートルまで上昇する有人宇宙飛行機を作り、子どもたちに宇宙から地球を見せたい」と壮大な夢を膨らませている。

緑区の緒川さんイベント参加へ

## ラジコン機で まず400メートルまで

同イベントは、宇宙工学を学ぶ学生や社会人のロケット研究者らが成果を披露する場。4回目の今年は約25チームが出場し、自作のロケットを打ち上げたり、飛行機を飛ばしたりする。

緒川さんは全長1・5メートルのラジコン飛行機で参加する。

木材や発泡スチロール、カーボンを織り交ぜたコンポジット材(複合材)を使った機体から、搭載するパルスジェットエンジンまで、すべて手作りだ。

航空宇宙工学を修了後、愛知県内の大手自動車部品メーカーだ。

カーに就職。エンジニアとして7年間勤めた後、2007年に退職し、幼いころからの夢だった有人宇宙飛行機の開発を目指す会社「PDエアロスペース」を設立した。

宇宙イベントへの参加は、

同社にとって大きな目標のため。機体は大学の同窓生ら約10人と、5月から週末を利用して製作した。高度400メートルから1000メートルまでは果てしない道のりだが、緒川さんは「こんな夢を追いかけたい会社があることを、少しでも多くの人に知ってほしい」と話す。



飛行機の調整をする緒川さん(左から2人目)ら